

雄武観光の魅力化

自然観賞、農・水産加工などの体験メニューを「ホテル日の出岬のオプション・ツアー」として企画するなど、潜在的な観光資源の発掘・魅力化による滞在型観光の取り組みを展開し、グリーンツーリズム・マリントーリズムとしてのアクティビティ化をめざします。

また、町民の協力を得ながら、集客につながる地域イベントの充実を図るとともに、通年型土産品としての水産加工品やダッタンそば関連商品などの生産増強に努めます。



上・下水道の整備

上・下水道の整備をとりまく環境の変化

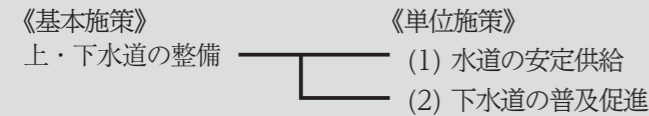
雄武町の水道は、昭和33年に市街地、49年に沢木地区、51年に幌内地区で給水が開始されました。農村部では専用水道および4つの営農用水が整備されています。

近年、老朽配水管の更新、継続的な漏水調査と漏水箇所の修繕を実施し、有収率が大きく上昇し、経営の安定につながりました。

今後も、良質で安全な水を安定的に供給していくため、各施設の計画的な修繕や更新を進め、経費の節減による効率的な事業運営を推進することが求められます。

下水道については、平成8年から雄武浄化センターが供用開始され、雄武・魚田地区に公共下水道を整備し、他の地区は浄化槽の普及を図っています。公共下水道は、人口に対する普及率や整備区域内の水洗化率が8割程度となっていることから、施設の維持管理が中心的な課題となっていますが、限られた予算の中で、長寿命化を一部先送りしながら進める状況にあります。

基本施策の体系



単位施策の紹介

水道の安定供給

水道は住民の日常生活に欠くことのできないライフラインとして、安全安心かつ持続的に安定供給できるよう監視の強化と適切な維持管理により水質保全に努めるとともに、引き続き老朽配水管の更新を進めます。

さらに、簡易水道事業として将来にわたって安定的に経営するために、将来の投資を的確に把握し、経費削減に努めつつ経営の健全化に取り組んでいきます。

計画書の全体は町ホームページで公開しています。

なお、希望される人には、基本構想と前期基本計画の冊子を郵送します。

関財務企画課企画調整係

28年度実績	→	34年度目標
【水道普及率】		
94.7%	↗	95%
【水道有収率】		
86.1%	↗	90%
【水道の満足度】		
50.2%	↗	60%
【汚水処理人口普及率】		
80.8%	↗	86.6%
【水洗化率】		
85.6%	↗	100%
【下水道の満足度】		
45.1%	↗	50%
【合併処理浄化槽年間補助件数】		
6基	↗	7基

～郷土愛で築く～「おうむ」次世代躍進プラン 第6期 雄武町総合計画

◎第6期雄武町総合計画の施策ごとの計画内容についてシリーズで紹介します

5月号では、第6期雄武町総合計画の概要を、6月号からは施策ごとの計画内容を全10回のシリーズで紹介しています。今号は第5回目で「基本施策⑤観光の振興」と「基本施策⑮上・下水道の整備」について紹介していきます。

観光の振興

観光をとりまく環境の変化

雄武町は、北海道周遊旅行などで多くの観光客が通過します。しかし、観光入込施設が少ないことから、経済振興の効果は多くありません。

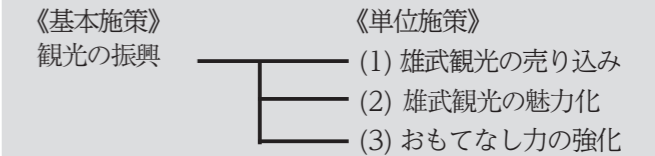
一方、道北・道東の広域に目を転じると、充実した自然体験メニューで堅調に観光客を増やす宿泊施設があるほか、スポーツ合宿やインバウンド観光が急速に発達しており、類似する条件下にあるわが町の観光も、創意・工夫により、大きく飛躍することが期待されます。

そのため、平成26年4月に法人化した雄武町観光協会を中心に、観光振興の人づくり・仕組みづくりを進めつつ、全国的に希少なオホーツクの自然を背景に、本物の食の魅力を堪能できるわが町の観光の積極的な情報発信と、観光資源の発掘・魅力化・ネットワーク化を図ることが求められます。

※インバウンド：外国人が国内の観光地などを旅行で訪れること。



基本施策の体系



単位施策の紹介

雄武観光の売り込み

観光マスタープランを推進するとともに、近隣市町村、道、旅行会社などと連携しながら、日の出、流水、海岸、牧歌的景観、神門の滝、イナシベツの滝などの自然、第一次産業の恵みがもたらす食を中心に、各種フェアへの参加やSNSなどの情報ツールにより、全道・全国に雄武観光を売り込みます。

また、都市部の居住者の好奇心や探究心に応える雄武ならではの、ストーリーやエピソードを整理し情報発信します。

28年度実績	→	34年度目標
【年間観光入り込み客数】		
104,000人 (24～27年度平均)	↗	120,000人
【紋別空港利用助成制度による観光客等人数 (町内宿泊施設)】		
1,980人	↗	2,200人
【観光イベント参加者数】		
18,000人 (27年度)	↗	20,000人